

# ユーラシアンホットライン

## 「メルトダウン」の影響が首都圏を覆う 国会議員全員が原発を視察、被災地で国会を開催すべき

### 被災者による復興作業に労賃を支払え

大野 遼

東京電力は 5 月 12 日、これまで福島第一原発の 1 号機の「燃料の一部損傷」と説明していたが、これが核燃料のメルトダウン（炉心溶融）だったことを認めた。

「水位計を修理した結果」の発表で、通常時の燃料棒上部から 5 メートル以下の水位しかないことが分かったという。燃料棒はすでに高温で溶けて、压力容器底部に落ち、さらに格納容器のどこかに亀裂などが入って、「1 日 150 トン」の冷却水は汚染水となって、燃料棒外側の格納容器からも相当量漏出という垂れ流し状態という。本当に責任者は出て来いと言いたい心境になる。

東電は今頃何を言っている。実は、震災の翌日に「メルトダウン」は指摘されていた。経済産業省原子力安全・保安院は 3 月 12 日午後、冷却機能を喪失していた東京電力福島第 1 原発 1 号機（福島県大熊町）の周辺で、放射性物質のセシウムが検出されたと発表したからだ。セシウムは炉心のウラン燃料が核分裂してできる物質。食品や水から、ちりの吸い込みを通じて摂取され癌のリスクが高まる。保安院幹部は震災翌日の記者会見で「炉心の燃料が溶けだしているとみてよい」と炉心溶融（メルトダウン）が進んでいることを指摘していた。東日本大震災の発生で自動停止してから約 1 日で、放射性物質の拡散を抑えることができない原発事故としては最悪の事態となったという認識にあった。

しかも一ヵ月後には、原発事故の危険度は最高のレベル 7 になり、ストロンチウムも検出されている。ストロンチウムもウランの核分裂で発生する。カルシウムの同族元素なため、カルシウム摂取に役立つ食品に含まれる上、食品や水を通じて体内に摂取すると骨の中に蓄積されて、骨の癌や白血病の原因。簡単には体外には排泄できないことを考えると、放射性ストロンチウムによる内部被ばくは最も警戒が必要とされている。後から後から検査結果が発表されて大騒ぎになっていることから考えると、ストロンチウムの汚染も相当広がっていることが推測される。

それを証明したのが首都圏での原発汚染だ。原発から 300 キロ離れた神奈川県下の茶畑で基準値超えのセシウムが検出されると、下水処理場（浄水場）汚泥焼却場でもヨウ素やセシウムが検出され

さらに栃木県や茶所静岡県下でも生茶葉からセシウムが検出されている。「放射能の垂れ流し」「日本列島被爆」が続いているにもかかわらず何も対応できていない、どこか米国エネルギー省と共同で放射線汚染調査をしている文部科学省は、「安全神話」に加担し、子供たちを危険にさらす汚染規制基準緩和に踏み切った。「放射能汚染がなかった」と言える裁量の幅を広げたこと。つまり日本人をより危険にさらした決定だ。震災直後から「基準値」緩和は行なわれているが、今回の基準値を 20 倍緩和した決定は、ICRP（国際放射線防護委員会）という、マンハッタン計画（日本を被爆させた原爆製造）に携わった米国の物理学者らが立ち上げた私的核開発組織の勧告に従ったもの。将来の賠償請求に備えた基準値緩和といわれている。原発事故直後の不安に乗じて原発利権の周りで悪魔が跳梁する間、そして国会と霞ヶ関の危機状態。

既に 3 ヶ月。復興作業は遅々として進まず、仕事も暮らしの先行きも見えず、被災地の体育館でダンボールに囲まれた生活が続く。多くの支援金は被災者に分配されず、日赤に溜め込まれたまま。政府の発表や議論は「寝言」のようにならぬ。

「制御不能」の国会や東電、今になっても「安全神話」の呪縛から抜け出せず、「現状」をとりあえず原発の「中止」であって「廃棄」ではない、「原発をやめると世界の科学の発展から取り残される」などとふざけたことを言うコメンテーターや政治家。小泉政権の末期に、政財界のリーダーたちが、チャーター機をウズベキスタンとカザフスタンに飛ばし「ウラン外交」を行なったことを思い出した。原発汚染水を海に捨てたり、モンゴルに原発廃棄物の処理場をつくるような地球規模の核汚染に目をつぶり「廃棄」ではないとか「科学の発展」からとりのこされるなど、「世界最初の被爆国」を語る資格が問われる事態だ。いずれにせよ国会議員は全員防護服を着て原発被災地に現状視察に入り、津波の被災地で瓦礫の撤去にあたるべきだ。国会の開催も被災地のテントの中でやらないと復興のスピードはあがらない。私の友人も言っていたが、家も仕事も失った人々の復興と生活再建のためには「自衛隊派遣による復興作業ばかりでなく、被災住民自身による復興作業に労賃を支払うことをやるべきだ」という提案は検討されていいと思う。

**何度も提案する。国会の議論は東京を離れて、「現地」で、瓦礫撤去や復興に協力しながら、被災地を巡回しながらやるべきだ。被災地から日本が再生する道が見えてくる。**

大野 遼

元ユネスコ主席広報官で、大シルクロードプロジェクトを実施した服部英二さんの「緊急アピール」が反響を呼んでいる。既に世界の 30 名以上の学者・文化人が自分のウェブにこのアピール（仏語訳、英語訳）を掲載しており、7 月 5 日、日仏会館でシンポジウムを開催の予定です。私もこのアピールの精神に賛成です。今の地球を覆う人類史・世界史は本質的に自然に対して略奪型であり、それが紀元前 2000 年にさかのぼる気象環境の変化に基づく民族移動と差別的・略奪型国家の形成を基にしたものと思います。自然資源の管理、市場経済の、特に金融マフィア

の管理につながる方向で何とかしないと原発も止まらないように思います。原発は人類史的危機意識で考えないとまずい。国会にそんなことは期待できません。国会議員はとりあえず被災地に出向き、全員瓦礫撤去に取り組んで、真剣に日本の運命を考えた方がよい。以下アピールの全文を掲載します。

日本地球システム・倫理学会緊急アピール  
国連倫理サミットの開催と地球倫理国際日の創設を訴える  
平成 23 年 4 月 11 日

日本地球システム・倫理学会  
会長 服部英二

世界が直面する危機は経済危機でも金融危機でもなく文明の危機であり、その解決には人類の叡智の地球規模の動員が必要とされます。

このたび日本を見舞った未曾有の大震災と津波による数十万人の生命線の破壊、更にそれが惹起した福島原発事故は、日本のみならず世界に人間の生き方の変革を迫る「母なる大地」の警告にほかなりません。

「自然を統御し支配する」という 17 世紀以来の科学文明は、破局に人類を向かわせる「力の文明」であり、理性至上主義の父性原理に基づくものであります。今やこれを、命の継承を至上の価値とする母性原理に基づく「いのちの文明」へ転換すべき時です。このパラダイム転換こそが、すべての民族が、そして人間と地球が共生する「和の文明」を築く基盤であります。諸文明に通底する倫理とそれに基づく人の絆を築き、未来世代が美しい地球を享受する権利を尊重する新しい文明の創設が待たれます。

日本はついに軍事・民事の双方で原子力の犠牲国となりました。日本は国際社会に核廃絶を訴え続けてきました。当学会としては、日本は今や自国のみならず世界が、エネルギー問題においても、脱原発に舵を切ることを訴えて行く責務を負うに至ったと確信します。この責務を果たすことこそ今回の不幸を無駄にしない唯一の世界への貢献であると信じます。

人類が直面する危機の根深い原因は世界的に蔓延した倫理の欠如であります。未来世代に属すべき資源を濫用枯渇させるばかりか、永久に有毒な廃棄物及び膨大な債務を後世に残すことは倫理の根本に反します。市場原理主義による寡奪文明からの脱却が急務であります。

このような状況を前にして、本学会としては、一日も早く国連倫理サミットを開催し、「地球倫理国際日」を創設することにより、毎年倫理の重要性に思いを馳せる機会とすることを国際社会に提唱するものであります。

学会事務局 E-mail: [ntatiki@reitaku-u.ac.jp](mailto:ntatiki@reitaku-u.ac.jp)  
学会 URL : <http://gsea.jp/>

## 蒼国来栄吉さんの冤罪解雇裁判；相撲界の八百長処分で濡れ衣・「勇み足」の可能性

署名活動始まる！！皆様のご協力をお願いします。

大野遼

野球賭博に関わった力士の携帯電話捜査から相撲界を震撼させた「大相撲八百長問題」。この最終調査の段階で、このニュースレターでも紹介し、今後に期待をしてきた蒼国来さんが、震災一ヶ月後で世情が被災地に目を向けている 4 月 1 日、日本相撲協会によって、八百長に関わったとして引退勧告を示され、しかし、一切事実無根のことだと引退届を出さなかった為、同月 14 日に解雇処分を言い渡されました。勧告から中 2 日、八百長をしたと判断した理由や証拠は明示されず、「問答無用」の解雇でした。まさに晴天の霹靂。

蒼国来さんを知る友人たちの間では、「あの真面目で稽古一途な蒼国来が八百長などする必要もなく、誰よりも強い正義感



を持つ彼が、唾棄すべき八百長などするわけがない」と断言する。これまで肅々と裁判手続きが進んでおり、あのテレビで有名な北村弁護士も弁護団の主力となり、勝訴は間違いないといわれています。今回の署名活動は、弁護士だけでなく親方の意向により進められることになった。尋常ではない。蒼国来さんは、力士全員に対する調査には積極的に協力し、携帯電話も提出。何の問題もなく終わろうとしていた最後の場面で問題の引き金になった春日錦の「証言」で「八百長認定」と断定されたという。

4 月 14 日に記者会見で「いっさいやっていない。春日錦とは話したこともない」という蒼国来さんには、春日錦が特別調査委員会にどう語ったかについて一言の説明もない。「証言」だけで解雇に至ったことになる。しかも本人に

はこの「証言」内容も知らされず、4 回の「調査」では最初の 2 回は「八百長の取り組みは 2 番」と言っていたのが「1 番」となっており、春日錦の「証言」が揺れていることを窺わせ、信頼性も問題だ。

蒼国来さんは自らの潔白を証言するため自らのブログで全て報告 <http://d.hatena.ne.jp/soukokurai/20110415/1302800947>、また福岡、神戸、大阪、愛知、岐阜など全国の支援者の間を回るほか、すでに 5 月 10 日には第一回の仮処分審議が開かれ春日錦との取り組みの状況を再現している。蒼国来さんを支援する「勝手連」も国技館前での署名活動やブログの解説をするなど動きが出ている。 <http://soukokurai.sakura.ne.jp/>

今の理事長の元魁傑は、二度の大関陥落から復活を遂げた誠実な取り口で好印象を持っている私であるが、「調査委員会」を通した今回の処分の進め方はいかなものかと思わざるを得ない。今回の闇に包まれた「白偏重」の「調査」からは、冤罪事件を生み出した日本の検察、警察の捜査とダブルとこが多い。特別調査委員会の調査の中心になったとみられる二人の委員村山弘義(元東京高検検事長)、吉野準(元警視總監協会監事)両氏の存在とは無関係であろうか。春日錦氏に対する「白強要」のようなことはなかったのか。春日錦は、どんな状況で何を語ったのか。蒼国来さんが相撲界から追われた理由は全く闇の中だ。これでいいのか。

帝王学「貞観政要」の「十思の十」に「罰を加えるときは、怒りのあまり過大な罰にならないように思え」とあるが、大相撲の早期復活を思う余りの「過大な罰」よりもひどい「濡れ衣」であったとしたら、力士にとって心せねばならない「勇み足」だったとしたら、これは取り返しがつかない。無実の力士に罰を加えた「冤罪事件」で、内モンゴルからわざわざ来日、相撲にかけた若者の一生を踏みにじるような「事件処理」では大相撲の再生はあり得ない。国際化の進む大相撲の「事件処理」は世界がみている。

最後に 14 日の記者会見の内容の一部を紹介する(全文はブログ参照)。

Q. 八百長認定されたのは 5 月場所の 1 番だけですか？

蒼国来: はい。

Q. 4 回調査に呼ばれたとのことですが、その具体的な内容は？

蒼国来: 春日錦さんの名前は 3 回目に初めて出ました。そこまでは出てません。

それまでは 2 番が認定されたと言われていました。なのに次、親方が調査に呼ばれて行くと 1 番に変わってました。1 回目、2 回目は具体的取組にふれないで、3 回目に 2 番がそういう相撲だと言われたのに、次、親方が呼ばれたときは、1 番だったと変わっていました。言葉が二転三転変わってました。

「どうしてそんなに変わるんですか」と聞いたんですが、「すみません」のひとことで終わりです。

Q. 春日錦戦という取り組みが出てきたとき、ビデオを見るなどして、ここはおかしいといった具体的な指摘があったのですか？

蒼国来: 私にはビデオは見せてませんし、春日錦さんにどう調査したのかも知らされてません。だから反論のしようがなかったです。ただ、これが認定されましたとだけ言われました。どの動きがおかしいとかの指摘はありませんでした。

Q. 1 回目の調査は？

蒼国来: 通帳と電話とを持って来てくださいということだったので、持って行って見せました。あとは、どんな関取と仲がいいのかとか、酒は好きかとか、よく飲みに行くのか、とかいったいろんな話でした。それが 2 回目になると、あなたは認定されています、問題は認めるか認めないかだ、我々は証拠をもってるし、認めれば特別調査委員会で守ってあげます、ということと言われました。向こうがわからないということにはきちっと答えできたのにです。

Q. 反論はしましたか？

蒼国来: 反論したくても、どうして認定されるのか意味がわかりませんので(しようがありません)。誰が言ってるのかを教えて下さいといっても、それは教えられません。ただ、やったことを認めてくれ、としか言われませんでした。

(以下略)

蒼国来さんの潔白を信じ、早急に相撲界に復帰されることを願っている。

## < バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)第 106 回研究会のご案内 >

日 時: 2011 年 6 月 9 (木) 15:00 ~ 17:00 テーマ: 「バイオマスの付加価値化ビジネス事例 ~ 廃食油からの潤滑油等製造・販売 ~」 講演者: 村澤 茂 氏(エコプロ JAPAN 株式会社代表取締役専務) 会 場: JICA 地球ひろば セミナールーム 301

(東京都渋谷区広尾 4-2-24 東京メトロ広尾駅より徒歩 1 分)

<http://www.jica.go.jp/hiroba/about/map.html>

参加費: BIN 会員 無料、一般 1000 円

今回の甚大なる災害に遭われた方々に、心からお見舞い申し上げます。日本で広く行われているバイオマス利用の一つが、廃食油からのバイオディーゼルの製造ですが、名古屋市にあ

るエコプロ JAPAN 社では、廃食油から切削オイル、潤滑オイル、油圧オイル等の機械・金属加工油を製造し、販売実績を上げています。バイオディーゼルなど燃料利用では、軽油とかけ離れた高い価格での販売は難しく、特に自動車燃料として軽油に混ぜるバイオディーゼル利用では、品確法をクリアすることが義務付けられることなどから、コスト高となり、採算を確保することが難しいのが現状です。しかしそれが工業用機械・金属加工油であれば、付加価値化による価格引き上げが可能になります。植物油原料であることから、鉱油にはない物性等(粘度が低く潤滑性が高い、防錆効果が高く冷却効果が高い、完成品油膜が薄いことによる洗浄の簡素化)

等の優れた性能も明らかになっており、価格面でも鉱油と同等のことです。鉱油の独特の臭い(悪臭)がない、洗浄が容易であるといった利点もあります。日本国内のバイオマス資源の量は限りがあり、人件費などの関係で高コストになりやすい国内での加工・販売において、製品の付加価値化は重要なポイントではないかと考えられます。当日は、エコプロ JAPAN 株式会社代表取締役専務の村澤 茂氏より、同社の戦略と製品の特徴、販売の実績などについてお話いただき、バイオマスの付加価値化ビジネスについて、参加者の皆さまとディスカッションできれば幸いです。参加を希望される方は、下記よりお申し込みください。

<http://www.npobin.net/apply/>

東日本大震災「つながりぬくもりプロジェクト~太陽光・太陽熱・バイオマスなどによる被災地支援~」では、バイオマスなどによる被災地支援のためのご寄付をお願いしています。(ご協力いただいた皆様、どうもありがとうございます。)避難所などに、移動薪ボ

イラー車などによりお湯を提供します。詳しくはこちらをご参照ください。<http://www.isep.or.jp/tunagari-project.html>

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の助成をいただいた作成していたバイオマス白書2011が完成しました。ご協力いただいた皆様、どうもありがとうございます。「国産材利用拡大と木質バイオマス利用」「バイオ燃料とランドラッシュ」の二つのトピックの他、2010年の国際・国内動向などについてまとめたものです。サイト版は、下記に掲載しています。<http://www.npobin.net/hakusho/2011/>また、バイオマス白書2011小冊子版(ダイジェスト版)の送付希望も承ります。A4版フルカラー28pの小冊子です。ご希望の方は、下記をご参照ください。<http://www.npobin.net/data/>

\*\*\*\*\*

NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク(BIN) 泊 みゆき  
〒277-0945 千葉県柏市しいの木台 3-15-12 Tel:047-389-1552  
Fax:047-389-1552 E-mail:mail@npobin.net

### 「トルクメン人が知っている日本」アンケート調査

今年の2月~3月にかけて、トルクメニスタン国立アザディ世界言語大学日本語学科の4年生の学生6人が、首都アシガバットに住む人を対象に標記のアンケートを実施した。調査対象 440人  
年齢構成 20歳未満(15%)、20代(49%)、30代(17%)、40代(13%)、50代以上(6%) アンケート調査の内、10項目を紹介する。

1、日本といったら最初に何を思いつきますか？(重複回答)

電気製品 28%・自動車 20%・忍者 10%・すし 10%・日の丸 8%・桜 5%・やくざ 5% 漫画(アニメ)4%・富士山 4%・新幹線 4%・その他 4% \*若者では電気製品とアニメが多かった。年配の人では忍者が多かった。やくざが知られているのはテレビ映画の影響だと思われる。

2、日本は第二次大戦で敗戦した後、短期間で発展した理由は何だと思いますか？ 全国民が一生涯懸命頑張ったから 57%・民主主義になって商売が自由になったから 26%・アメリカの援助があったから 9%・お金がたくさんあったから 6%・その他 2%

3、日本の都市で知っている名前はどれですか？ 東京 40%・広島 17%・長崎 15%・大阪 13%・奈良 3%・京都 2%・札幌 2%・神戸 1%・名古屋・横浜・沖縄・和歌山・知らない 5%

4、日本人が長生きしている理由は何だと思いますか？

昔から米と魚を食べているから 46%・空気と水がきれいから 24%・医療技術が進んでいるから 15%・ストレスが少ないから 7%・収入が多いから 5%・その他 2% \*日本は海に囲まれているから魚を食べる民族だと認識している。また、魚は健康にもよいことは知られているが、内陸のトルクメニスタンではカスピ海の魚ぐらいしかない。

5、1945年に広島と長崎に原爆が落とされたことを知っていますか？ はい 79%・いいえ 21% \*年配の人は原爆について知っているが、若者はあまり知らなかった。教科書で習ってはいるが、忘れてしまったようだ。

### (アザディ世界言語大学 日本語教師 森崎律子)

6、次の日本の伝統文化の中で知っているのはどれですか？(複数回答可) 茶道 36%・生け花 22%・日本舞踊 16%・折り紙 13%・書道 11%・それ以外 2% \*意外に伝統文化が知られており、若者の中では折り紙が知られていた。

7、日本のスポーツの中で知っているのはどれですか？(複数回答可) 空手 33%・柔道 20%・合気道 16%・相撲 14%・剣道 5%・知らない 12% \*柔道・空手はトルクメニスタンでも盛んなスポーツの一つであり、どこでも教えられている。

8、日本へ行きたいですか？ はい 84%・いいえ 14%・わからない 2% \*男性の中では行きたいと答えた人が多かった。特に旅行、日本料理を味わいたいという欲望が強い。行きたくないと答えた人は女性がかった。自分の国のほうが安全だと思っている。また、日本は工業が発展しているから、空気が汚いので行きたくないという人もいた。既に日本を訪れた人もいて、日本についてよく知っていた。機会があったらあの美しい国へもう一度行って見たいという意欲を示した。

9、日本語を聞いたことがありますか？

はい 59%・いいえ 41% \*日本語と中国語の違いをわからない人が多かった。アンケート調査のとき、日本語を聞かせたら、初めてその違いがわかったという人が多かった。

10、日本語についてどう思いますか？ 習うのは難しそう 64%・発音がきれい 24%・簡単そう 7%・漢字が難しそう 5%

#### <まとめ>

この調査を始めたきっかけは、授業でアンケート調査について学んだからである。それで、実際にやってみようということで、日本語学科としてはやはりトルクメン人がどのくらい日本のことについて知っているか知りたくて実施することにした。閉鎖的な国でできるかと案じたが、意外にも学生たちは意欲的に取り組んだ。調査目標数は500人であったが、大学の休暇中にするため、結果は440人に終わった。

今回の調査で、日本に対する認識が明らかになった。さまざまな情報はテレビによって得られている。テレビで放送されている内容は、大半は大統領に関することやセレモニーなどで、それ以外はロシアで制作された番組が殆どで、他にインド映画も見られている。ここ数年は、インターネットの利用者が増えているが、テレビの影響が大きい。

調査のテーマは日本についてだったが、中国と日本の区別がつか

ていないことが分かった。(日本人は中国人と同じように)虫などを食べているのではないかとという意外な答えもあった。トルクメニスタンから見ると遠い東アジアの国々の文化について同一に見られており、この点について正しく認識されるようにしていくすべを考えなければならないと感じた。今回は、日本と中国の比較についてしてみると面白いかもしれない。この結果を機会あるごとに紹介し、今後の活動に生かしてゆきたい。

## メディア・ユーラシア情報

東京外国語大学「日本語で読む中東メディア」が注目 <http://www.tufs.ac.jp/common/prmeis/fs/> です。(編集部)

### 地下資源依存型社会からの離脱

#### ドイツ緑の党、初の州首相 福島原発事故後、支持を拡大

ドイツ南西部バーデン・ビュルテンベルク州で 12 日、緑の党と社会民主党 (SPD) の連立政権が成立し、緑の党のウィンフリート・クレッチマン氏 (62) が州首相に就任した。同党からの州首相選出は 1980 年の党創設以来初めて。

福島第一原発事故を受け、原発政策が最大のテーマとなった 3 月の州議会選挙で、緑の党は得票を前回選挙から倍増させ、第 2 党へ躍進。第 3 党の SPD と連立を組んだ。同州ではこれまで半世紀以上にわたり、メルケル首相の政権と党・キリスト教民主同盟が政権を担ってきた。

両党は連立合意文書で「バーデン・ビュルテンベルクを今後のエネルギー供給のモデル州にする」として、州内の古い原発 2 基の廃炉や 2020 年までの再生可能エネルギー中心の電力供給をうたった。また、「州民は新しい政治と新しい政治スタイルを選んだ」として、住民投票の積極的な導入などを盛り込んだ。

公共放送 ZDF の全国世論調査 (6 日) では、緑の党の州首相誕生に 56% が賛成し、63% が新政権に期待していると答えた。(ベルリン=松井健) 2011 年 5 月 12 日 23 時 35 分

<http://www.asahi.com/international/update/0512/TKY201105120688.html>

#### ゴータマ・ブッダ国際平和賞：秋葉氏、田上氏が受賞

【ルンビニ (ネパール南西部) ピナヤ・グルアチャリヤ】ネパール政府が今年創設した「ゴータマ・ブッダ国際平和賞」の第 1 回授賞式が 17 日、ブッダ (釈迦 = しゃか) の生誕地である当地であり、前広島市長の秋葉忠利氏と、長崎市長の田上富久氏が受賞し、両氏に連名で賞金 5 万ドル (約 400 万円) が贈られた。

両氏の受賞は被爆地の市長としての軍縮活動が理由で、昨年ニューヨークで開催された核拡散防止条約 (NPT) 再検討会議などで主導的な役割を果たしたとしている。賞を授与したネパールのヤダブ大統領は 2 人を「世界平和を先導する指導者」とたたえた。

田上市長は演説で「長崎と広島が長年にわたり核廃絶を願って運動してきたことが評価されたものと理解している」と述べた。毎日新聞 2011 年 5 月 17 日 20 時 22 分

<http://mainichi.jp/select/wadai/news/20110518k000m040071000c.html>

### 中央アジア

#### アフガン大統領が「最後の警告」 駐留外国部隊に誤爆問題で

【ニューデリー = 北北真樹子】アフガニスタン南部ヘルマンド州で 28 日に国際治安支援部隊 (ISAF) の空爆により子供ら 14 人が死亡した問題で、民間人を巻き添えにした空爆をかねて批判しているカルザイ大統領は 29 日、米国や ISAF を主導する北大西洋条約機構 (NATO) 軍に対し、民間人が犠牲になるような空爆をやめるよう「最後の警告」を突きつけた。

これを受け、ISAF は 30 日、謝罪声明を出し、「市民の犠牲者を出さないことがわれわれの最優先事項だ」として、空爆の精度向上などに努める考えを示した。

ISAF は、建物内に逃げ込んだ武装勢力と駐留部隊兵との交戦中に攻撃は行われたが、後になって建物内に民間人もいたことが判明したとしている。だが、住民は子供たちの就寝中に民家 2 軒が攻撃を受けたとしており、空爆時の状況に関する情報は錯綜 (さくそう) している。 2011.5.30 17:27

NATO の空爆をめぐっては、東部ヌリスタン州でも、イスラム原理主義勢力タリバンに対する空爆で民間人が死亡。同州知事によると、民間人 18 人と警官 20 人が犠牲になったという。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/110530/asi11053017280003-n1.htm>

### 東アジア

#### 被災の中高生、8月にロシアで休暇 = 大統領夫人招待受け約 60 人

【モスクワ時事】日本政府は、東日本大震災で被災した中高生 50 ~ 60 人に 8 月、ロシア政府の招待で極東ウラジオストク近くの保

養施設などで休暇を過ごしてもらう計画を固めた。フランスのドービルで 27 日午後 (日本時間同) 行われる日ロ首脳会談で、菅直人首相がメドベージェフ大統領に伝える見通し。日ロ関係筋が明らか

にした。

被災した子供たちをロシアに招待することはメドベージェフ大統領のスペトラーナ夫人が提案し、日本側も「温かい申し出なので応じたい」と検討していた。

ロシア側の受け入れ先は、ウラジオストク近郊の保養施設「オケアン」などで、滞在期間は1週間～10日程度という。ロシア側は約3週間受け入れると提案したが、生徒らが被災後に授業を受けられなかったことなどに配慮、短縮された。

一方、同筋によると、福島第1原発事故への対応をめぐる協力の一環として、ロシア国営原子力企業ロスアトムが専門家を6月に東京に派遣、1986年4月の旧ソ連チェルノブイリ原発事故の際の知識と経験を日本側に提供することも固まった。

提供されるのは、事故処理事業員の放射線被ばくによる健康被害や土壌の放射能汚染の農業への影響に関するデータなど。[時事通信社] ASAHI.COM 朝日新聞 2011年5月27日15時6分

<http://www.asahi.com/international/jiji/JJT201105270091.html>

#### ベトナムが異例の会見で中国非難 探査妨害に危機感

ベトナム外務省は29日、南シナ海で同国の探査船が中国の監視船に妨害され、石油・天然ガスの調査関連設備が損傷を受けた問題

について緊急記者会見を開き、「ベトナムの排他的経済水域（EEZ）および大陸棚での通常の調査を妨げる行為で、重大な主権侵害だ」と非難した。日曜の会見開催は異例で、強い危機感を示しているといえる。

両国は南シナ海の南沙（英語名スプラトリー）諸島、西沙（同パラセル）諸島の領有権を争う。だが今回の現場は両諸島から離れており、グエン・フオン・ガー外務省報道官は「中国は争いのない場所を意図的に領有権係争地にしようとしている」と批判。「過去最も深刻な領海侵犯だ」と語った。

現場は国営石油会社ペトロベトナムの石油・天然ガス開発鉱区。会見に同席した同社幹部は「外国投資家の心理にも影響があるだろう」と懸念を表明した。（共同）2011.5.29 22:10

<http://sankei.jp/msn.com/world/news/110529/asi11052922110007-n1.htm>

## 【注意】 - 内モンゴルにおけるある殺人事件 30日に抗議活動行なわれる！ 内モンゴル草原で石炭開発トラックが暴走、遊牧民青年を轢殺。

5月11日、内モンゴル自治区・西ウジウムチン旗で発生した、トラックで牧人を故意に轢き殺した惨事への抗議、そして背景にある、乱開発による草原や生態の破壊、そして草原の農牧民の基本的な人権、生命や財産の無視など、中華人民共和国憲法、民族区域自治区法、草原法などに反する行為が行われていることに対し、在日モンゴル人ら175人は、5月30日午後、中国大使館前で抗議活動を実施。「草原を守れ」「牧民の暮らしを守れ」とシュプレヒコールを挙げた。抗議活動はマスコミ各社が取材した

### （内モンゴルで発生した事件の概要）

2011年5月11日、午前4時ごろ、内モンゴル自治区シリンゴル盟・西ウジウムチン旗・ホゴルト・ソム（郡）の草原で、悲惨きわる殺人事件が発生した。当地で石炭を発掘している石炭開発会社のトラック二台が、若い遊牧民をわざと轢き殺したという。以下主催者資料から

近年、開発という名の下で、草原が破壊され、遊牧民が生活の場を失っている。今回の事件は、そんな状況の中で起こった一例に過ぎない。ホゴルト・ソム（郡）のメルゲンという遊牧民の青年は、いつも自分のゲル（住居）の100メートル周辺を石炭を積んだ大型トラックが昼夜を問わずに走ることで大きな騒音迷惑を受けたばかりではなく、多くのトラックが常に広い草地を好き勝手に走り、牧草地を破壊したせいで、砂埃がゲルや牧草地を覆い、日常生活や放牧に大きな影響を受けていた。地元政府はこれといった対策を取らなかったため、彼は、地元の遊牧民らに呼びかけて、何とかして自分たちでこのような破壊行為や迷惑行為を止めようとして立ち上がった。

事件当日、彼らは、午前四時ごろ、石炭鉱に向かうために、いつもどおりゲルの近くを通りかかろうとした三台の大型トラックを阻止しようとして立ち阻んだ。運転手らと口論のあったのち、トラックの運転手らは彼の抗議を完全に無視し、彼にトラックをぶつけて、倒

れたメルゲンを轢き殺し、さらに150メートルも引きずったという。それだけではない。一人の若い運転手が「一人の牧民の命はたかが40万円だ！」（約520万円）と言い放って、そのまま平然と逃亡したという。

「これは、開発という名の暴挙。法を無視し、人の命を無視し、草地保護を無視した、蛮行。現代社会でこのようなことが起きていいのだろうか」という声が内外に広がっている。

当日、午後4時過ぎに犯人らは、警察当局に身柄を拘束されたようだが、これは、決してただの事故として扱ってはならない。殺人事件である。このような事件はほかにも数件起きているという情報がある。草原の地下資源開発に伴って、牧草地が破壊されている現状は政府も把握しているはずだが、国家発展のための開発ということで、地元政府も大きな声を出せないのが現状。牧畜民の家畜がトラックに跳ねられて道脇に転がっている風景は何度も見たことがある。今度は、人も平気で跳ねて、轢き殺している。

モンゴル人は、草原開発における法的環境を整え草原の保護や農牧民の生命、財産を最優先させるべき政策を実施するよう、中国当局に働きかける共に、国際社会に訴えることにしており、中国政府が民族政策や法律に基づいて、犯人を裁き、今後このような惨事が起こらないよう対策を講じることを要請している。

2011年5月23日朝8時頃、西ウジウムチン旗のホゴルト郡の牧民

たちが、地方行政府に対し、故メルゲン氏の問題解決のために向かう途中、地方政府から派遣されてきた軍隊、警察によって妨害され、学生一名、牧民三名の計 4 名が逮捕された。逮捕された人々が地方行政府に連行された後、どうなったかは明らかでない。およそ、100 人以上の警察、200 人以上の軍隊が動員されていたという。5 月 30 日以内モンゴル自治区フフホト市新華広場に位置する内モンゴルテレビ局及び内モンゴル自治区政府前にて大学生及び社会各階層の知識層による大規模なデモが計画され、内モンゴル大学、内モンゴル師範大学、内モンゴル民族学院、内モンゴル工業大学、内モンゴル徳馬芸術学校等が参加の予定だったが政府の外出禁止令で活動は封殺された。

アムネスティインターナショナルも、牧民の暮らし、人権と表現

の自由を守るよう求める声明を発表している。

同事件に関する情報：

サンケイニュース

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/110529/chn1105291750001-n1.htm>

モンゴル語サイト

<http://www.holvoo.net/article/articleView.do?id=12555b50-e256-4dcf-8997-08e1c171cf71>

鳳凰視頻 (18 日報道) <http://v.ifeng.com/> 中国語サイト：

[http://blog.sina.com.cn/s/blog\\_48ec8aa60100stgt.html](http://blog.sina.com.cn/s/blog_48ec8aa60100stgt.html)

### (不連続掲載)【アジアから見える日本考】第 3 回

5 月 15 日、東京で、加藤九祚先生の二つの出版物の刊行を祝う催しが行なわれた。出版物の一つは「E・V・ルトヴェラゼ著 / 加藤九祚訳『中央アジアの文明・国家・文化 シルクロード学序説』平凡社刊」、もう一つは加藤九祚先生の記念碑的著作『天の蛇』(大佛次郎賞)増補完本復刊である。加藤先生は、訪日できなかったルトヴィラゼさんに代わり記念講演を行った。講演の内容は「シルクロード考古学の最新研究・マルグシュ(古代メルヴの遺跡)」。ヒンズークシ山脈の北バクトリアからカラコム砂漠に接するトルクメニスタンのメルヴを中心とするマルギアナ地域の青銅器文化 (BC2000 年頃、バクトリア・マルギアナ考古学複合 BMAK) は、現在世界中の考古学者、比較言語学者、歴史学者、宗教学者の間で注目されており、「インド・イラン」系共通の時代、「アーリアの故地」を考える上で重要な遺跡となっている。この日、特に大きなテーマの一つは、ルトヴィラゼさんが著書で提案した「大インドの道」(ギリシャから黒海、カスピ海、中央アジア、インドを縦断して東南アジア内陸部から中国・四川省つながる回廊)で、特に中央アジアの南北を東西に伸びる従来型のシルクロードとは別に、オクサス(アムダリア)川を経てカスピ海を渡り、黒海からギリシャに行く、カスピ海直行シルクロードが注目された。私は以前から、ゾロアスター教における水と川の女神アナーヒターについて「フカルヤ峰」からたぎり落ち「中央州」に湧き出し、アフ

### プロト・ゾロアスター教の形成

大野遼

から私は、テルメズの西方からカラコム砂漠の中央をまっすぐ西に向かう“塩の道”を見出した。これがアラル海に向かう前のオクサス(アムダリア)＝アナーヒターの痕跡ではないかと考えた。講演会の直前、オクサス学会設立者の古曳正夫さんから加藤先生が第 4 のケリフ・ウズボイの痕跡を点線で示した地図を紹介したことを知らされた。「古オクサス川」は幻ではなくなった。これは大変重要で、カスピ海東方、マルグシュ遺跡の周辺をかつて大河が流れ、カラコム砂漠に草原が広がっていた可能性が出てきたのだ。

この日加藤先生が資料提供して下さったトルクメニスタンの考古学者サリアニディ氏のマルグシュ遺跡の報告資料は、「インド・イラン」の謎、ゾロアスター教形成と誕生の背景、そしてアナーヒターとアフラマズダをどう考えるかについて示唆に富むものであった。一つの推測が成り立つ。

紀元前 2000 年頃、カスピ海東方には、おそらくシュメール、イ

ングス文明に近い母系農耕文化が展開しており、アムダリア(オクサス)川は、カラコム砂漠の中央をまっすぐ西に向かい、カスピ海に注いでいた。北メソポタミアとバクトリアには「ラピスラズリの道」とも言うべき「古シルクロード」が通っていた。人類史におけるヒブシサーマルの後半、紀元前 3000 年から 2000 年にかけて、地球を覆った寒冷化、乾燥化という気候の変化は、日本列島では縄文人の南下現象を伴った。中



央アジアではアーリア人の南下、拡散を引き起こした。アーリア人は騎馬と戦車による遊牧を中心とし、戦士主体の男系社会で、バク

トリア・マルギアナ母系農耕社会と接触した。そして誕生したのがゴヌール防城都市。王宮とみられている内部の地下には直径 50 センチの陶製土管を使用した複雑な排水施設がめぐっていた。マルグシュ遺跡のトゴロク 21 号遺跡では、エフェドラとケンが検出され、「アヴェスタ」というハオマ（「リグヴェーダ」のソーマ）を使用した儀礼用酩酊飲料やハオマ製造道具も見つかった。

マルグシュ遺跡の調査責任者サルディアニ氏は「最初のハオマ信

仰・拝火にむすびつくプロト・ゾロアスター教の神殿」があったと考え、パクトリアとマルギアナ、ベルジスタンがプロト・ゾロアスター教をもとに新宗教をつくりあげたゾロアスターとゾロアスター教の原郷」と結論付けている。しかし、マルグシュ遺跡の性格と「インド・イラン共通時代」、アリアの故地、ゾロアスター教の形成には、いくつもの意見がある。

( 続 )

## 中津川弁才天・愛川町音楽祭「アジア・シルクロード音楽フェスティバル 伝統の継承」

イラン、ウイグル、モンゴル、ネパール、日本/アジア最高峰のミュージシャンが集合！！  
8 月 12 日（金）愛川町文化会館で、秋にミュージシャンを被災地に送るチャリティコンサート

### 被災地に響け、イラン、ウイグル、ヒマラヤ、モンゴル、シルクロードの音色（慰問キャラバン）

8 月 11 日の尺八製作ワークショップ、12 日午前のしのぶえ尺八ワークショップを初めとして、小中高生徒や地元三増獅子舞の文化伝承者らと文化のまちづくりに取り組むほか、12 日午後には東日本巨大地震被災地チャリティコンサートを兼ねた「弁才天愛川町音楽祭アジア・シルクロード音楽フェスティバル」を開催、竹笛バンスリの天才・パンチャ・ラマ（ネパール）、百通りのリズムタブラ奏者・サラバン・ラマ（ネパール）、篠笛の名手・木村俊介（日本）、尺八のチャンピオン・岳人山



（日本、ベルシャの遊行ミュージシャン・ダルヴィシュ・シャーサポリ・ハミド（イラン）、世界馬頭琴協会理事長・アヨシ・バトエルデネ（モンゴル）、東京芸大音楽部助手アブドセミ・アブラフマン（ウイグル）、ロックから民族音楽に開眼・河西堅（日本）ら錚々たるアジアの音楽家がチャリティコンサートに参加する。



6 月中旬、作曲家でもあるクオリティの高い仲間の演奏者と被災地を訪ねた上で、言葉にならない被災地の現状や復興への希望、アジアからのメッセージを込めた曲づくりを依頼し、夏のチャリティコンサートで発表し、秋以降、被災地の福島、宮城のホール事業企画担当者と連携した被災地や避難先での慰問音楽キャラバンを実施する。



ユーラシアンクラブ・愛川サライの運営スタッフを募集します。アジア・シルクロードの諸民族の方々との交流を通して、アジアを視野に国家民族宗教を超えた理解親睦協力を促進し、諸民族の共生、自然との共生を模索して活動します。

アジア各地からの投稿を歓迎します。ユーラシアンクラブ・企画編集委員会までお知らせください。

発行：特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ 発行人：大野 遼  
住所：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-11-5 TEL：03-5376-9343  
支部愛川サライ〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 6314 - 1  
TEL/FAX：046-285-4895 E-MAIL：[paf02266@nifty.ne.jp](mailto:paf02266@nifty.ne.jp)  
郵便振替：00190-7-87777 ユーラシアンクラブ お振り込の場合：ゆうちょ銀行 0 一九店 当座預金 0087777 ユーラシアンクラブ サポート会費、ご寄付はこちらへ。会費は年間一口 6,000 円、一口以上のご協力をお願い申し上げます。

<http://eurasianclub.cocolog-nifty.com/>

2011 0601 Non Profit Organization Eurasian Club

編集後記：6 月 2 日「内閣不信任」案提出！？原発を推進した政治家たちが「水掛け論」で時間を無駄に使うドンカンさ。国会議員は全員不信任にしたらどうか。一日でも早く被災者に届けたいと応じた義捐金をいまだに届けない日赤。イライラが募る昨今だ。国家の役割が問われているのは中国も同じ。「牧民の命は・・・」と言う発言は、事件を起こした人間というより国の少数民族政策の結果と言うべき。国家は古来、寄生する「優勢な」家族や経済的マフィア、政治的貴族、御用学者・「文化」人に属し、ヒエラルヒーを構成し、一人ひとりを大切にす本当の文化的原理では動いていない。そして地域自治体でも。イライラの原因は、勝ち馬に乗ろうとする人の心の中にある（お）